

トヨタユニテッド静岡 富士宮店

## Glamping TERRACE

グランピングテラス

新しいカーディーラー店舗は、東名・新東名の富士・新富士のインターから北上する西富士道路（国道139号線）添い、雄大な富士のすそ野に位置している。

敷地の特性は、富士を仰ぎ見るという最大の魅力と同居する敷地の傾斜（南北1.5m、東西2mのなだらかだがそれなりに大きい高低差がある）にある。

敷地内利用の効率化を図り、造成工事を最小に留めるため店舗棟を間に挟むことで敷地を大きく2段に捉え、店舗棟は道路なりのレベル差をむしろ好意的に空間に活かすことを考えた。

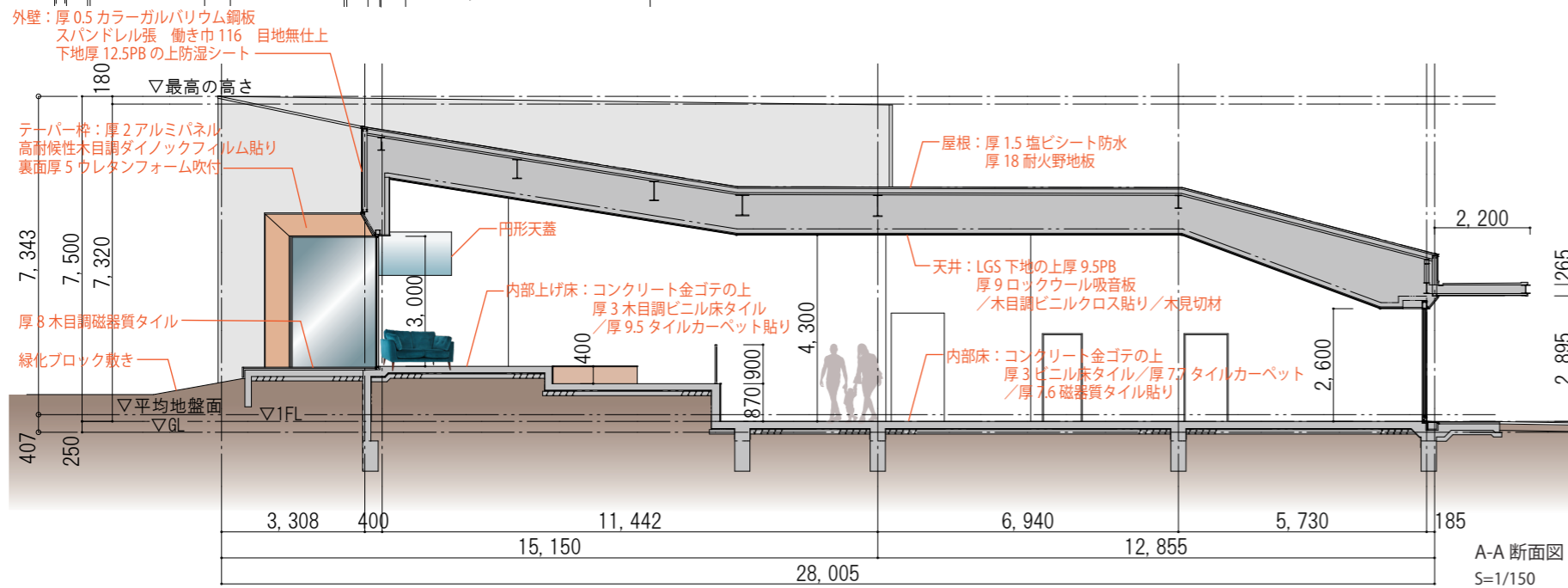
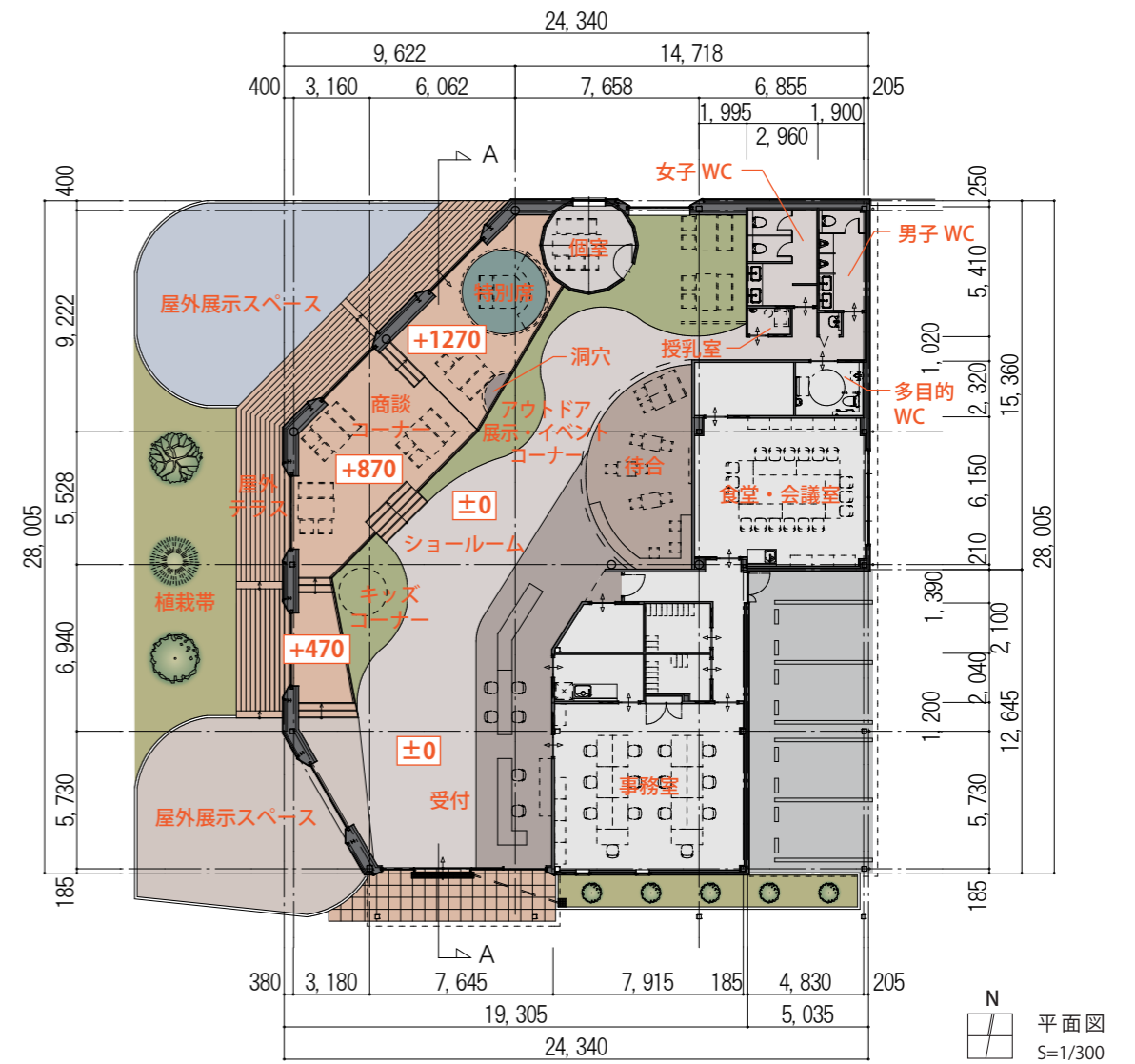
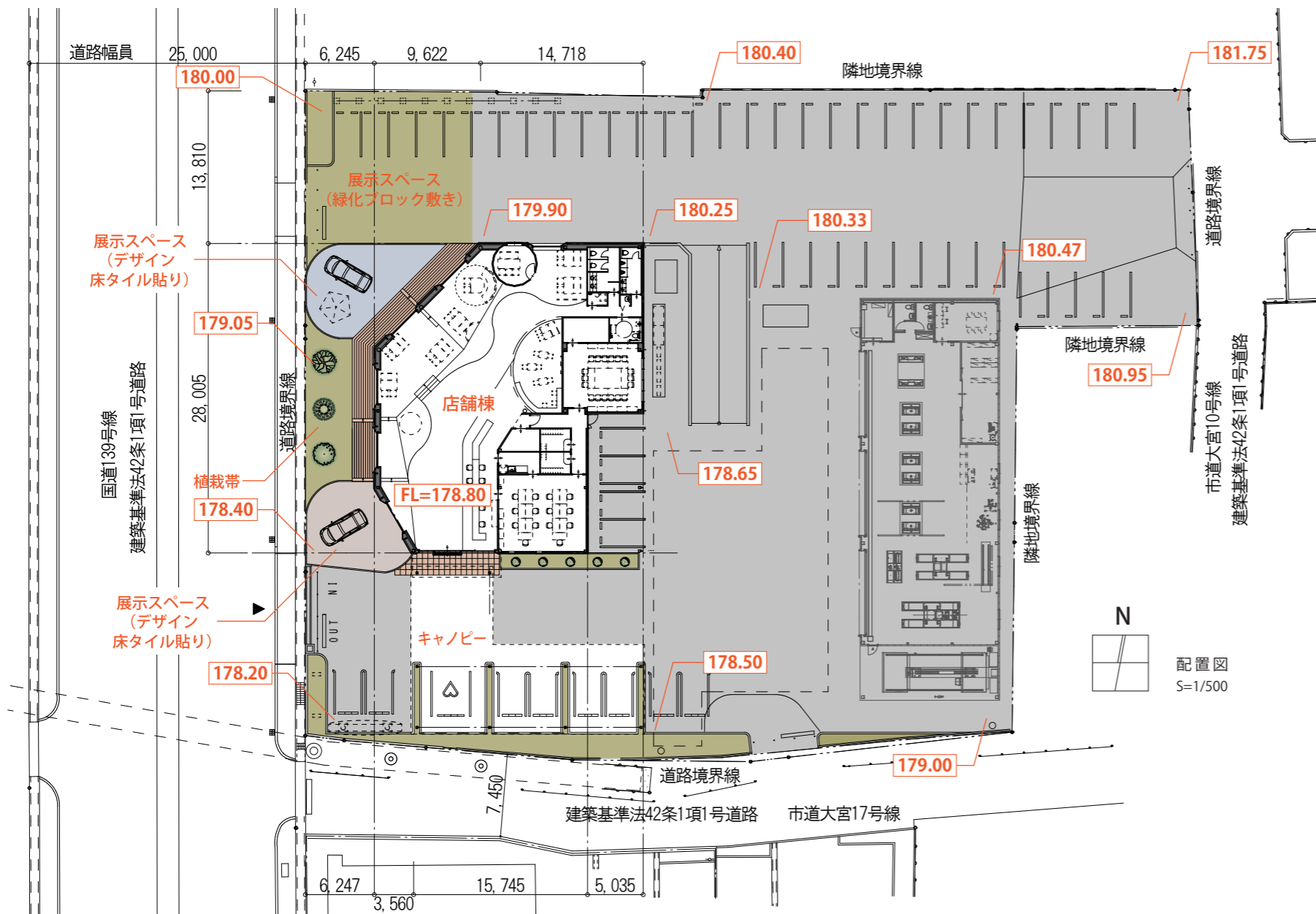
まずは、登っていく前面道路に近く構える店舗棟は3段の床のレベル差を設定し、道路に添わせつつ平屋でありながら建築に上下方向の操作を試みることにした。

そして、富士山頂へと向かう形態としての意識と内部に入ってから奥へ空間の広がりを持たせる様に気積を取ったこと、平面形状も店舗の西日を軽減するために外壁を多角にし開口部をコントロールしたこと、全てがこの敷地と件に対する建築の応答となっている。

また、この道路の先に同時期に構想を進行していたクライアント経営のキャンプ場「そらいろ」がオープンしたのと連動し、車とアウトドアによる新しいカーライフを提供する場『グランピング・テラス』を店舗のデザインコンセプトに掲げた。



南西側外観



**建築概要**

所在地	静岡県富士宮市舞々木町	その他	法第 22 条区域	施工期間	2023 年 4 月 1 日	建築面積	823.34 m <sup>2</sup>
計画区域	都市計画区域内	主要用途	店舗 (自動車販売店舗)		~ 10 月 31 日	延床面積	821.92 m <sup>2</sup>
用途地域	工業地域	構造	鉄骨造	最高高さ	7.343m		
防火地域	指定なし	階数	地上 1 階	敷地面積	4,171.12 m <sup>2</sup>		



南西側鳥瞰

富士山頂へと向かう意識を表現した外観は富士の裾野と繋がっているように見える変形の大屋根形状となり、いつも富士山と共にある、地元の方々の想いを表現している。



北西側グランドレベルから望む。



屋外テラス近景

店舗南西と北西に配したデザイン床タイル貼りスペースや北側に広がる緑化ブロック敷きにも、車のみならずアウトドア用品の展示など運営時の多様な展開を想定した。緑化ブロック敷きエリアの背面の木調フェンスにはクライアント経営のキャンプ場「そらいろ」とのコラボレーションを示すサインを設え、車との撮影に使用できるように想定した。また、南側の広いキャノピーは利用客が雨に濡れずに入店できるような設計とし、テラスと前面道路の間に植栽帯を設け、屋内からの植栽の眺めと展示スペースとのレイヤーの表現を両立させている。

### 主な外部仕上げ

屋根：厚 1.5 塩ビ防水シート／厚 0.8 カラー GL 鋼板 はげ締め折版

外壁：厚 0.5 カラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張り



西側近景

外観に真白は使用できない富士宮市景観計画に添わせ、ライトグレー色のカラーガルバリウム鋼板 スパンドレル張りの外壁とシート防水の屋根を面積対比効果を考慮した上で採用。富士山に積もる雪とデザインコンセプトである『グランピング・テラス』からイメージしたテントの白さを表現した。結果的に他社カーディーラー店舗や大きな看板が建ち並ぶ前面の西富士道路（国道 139 号線）の中でも目を引く存在となっている。

このサッシについては西日対策として Low-E ガラスとした上で面積を小さくし、店舗内の様子を見せる為全面サッシであることが多い従来のカーディーラーショールームとは対称的だがそれを逆手に取り、テラスの床仕上げと呼び合わせた木調のテーパー枠で縁取った正方形の窓により内部の活動を切り取って印象的に見せている。また、この木調枠はアウトドアのイメージを表現しながら無機質になり過ぎないアクセントとなり、さらに床の高低差とも相まってリズム感も生んでいる。



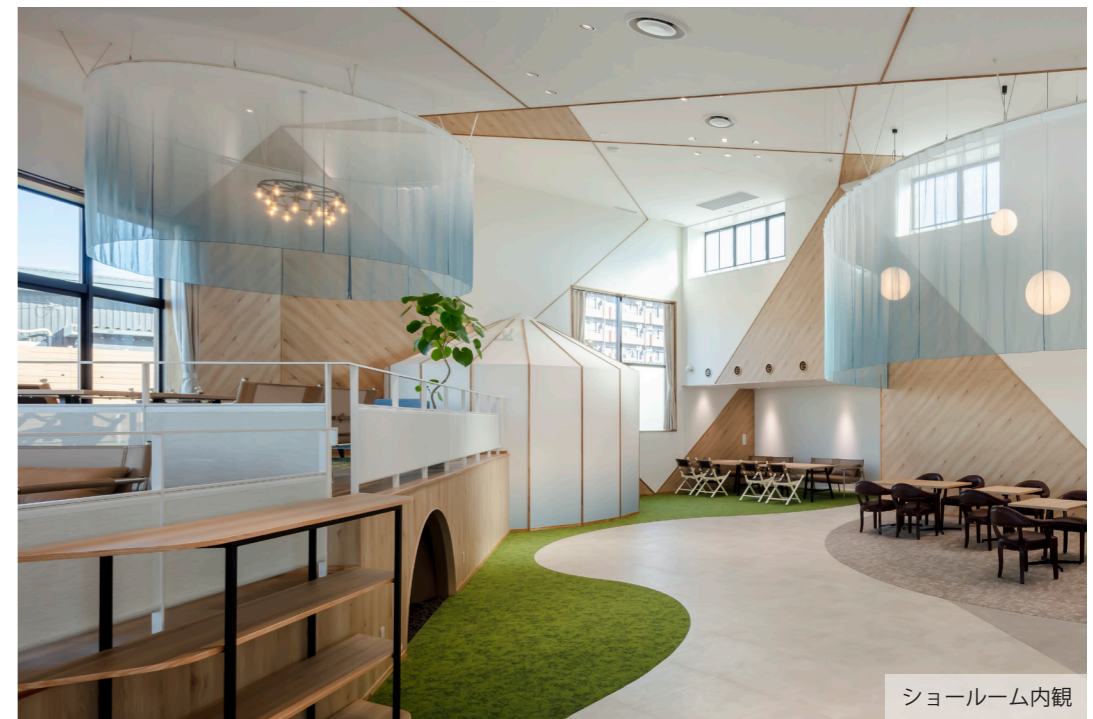
南西側歩道橋の上から望む。



西側正対夕景



入口側からショールーム全体を望む。



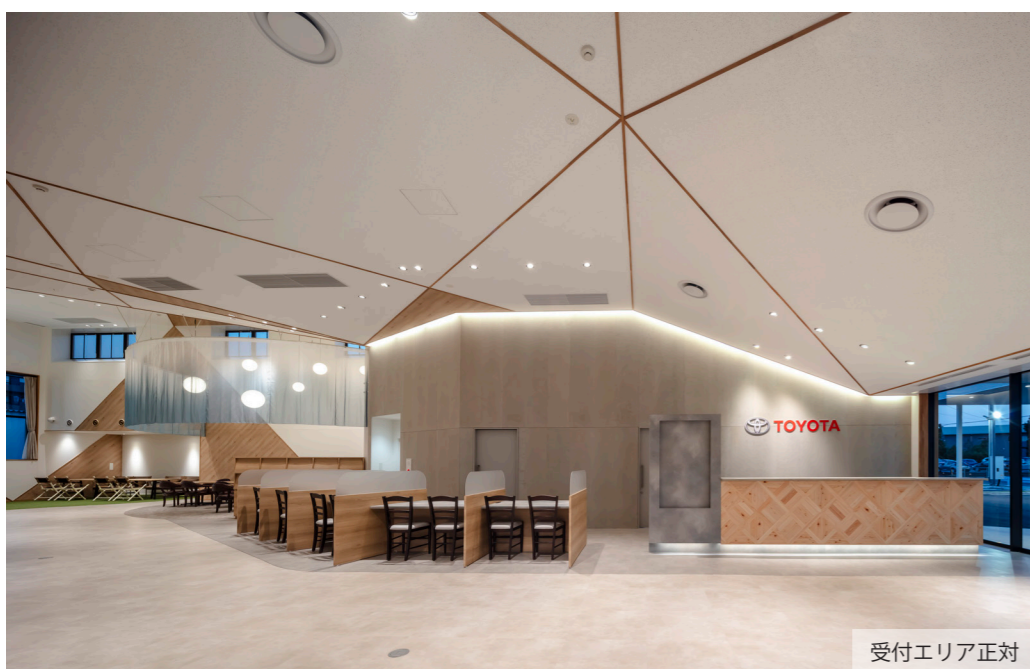
ショールーム内観

内部でも敷地高低差を活かす為、ショールーム内にも高低差を設け、上げ床部分は屋外テラスと床レベルをフラットにし、木調を合わせて繋がっているように見せ、コンセプトである広い『テラス』を表現している。

また、グランピングデザインのテントの中にあるイメージを表現する為、壁・天井を白ベースとしながらも、アクセントとして壁から天井まで木見切り材と木調クロスを大胆に繋げた。また、富士山をイメージした青から白のグラデーションのレース生地の円形天蓋を吊り、柔らかく一部エリアを区切り、ワンフロア全体に視線が抜けるように計画した。モンゴルのゲル（パオ）のような形状のグランピングテントを模した商談用個室の外側壁にも天蓋に呼応するグラデーションクロスを貼った。その他自然を連想させる色柄の仕上げ材やインナーグリーンの設置、家具やカーテンもグランピングデザインのものを選定している。

### 主な内部仕上げ

天井：厚9ロックウール吸音板／木目調ビニルクロス貼り／木見切材  
 壁：木目調・白系・グラデーションビニルクロス／厚15窯業系内装材貼り／木見切材  
 床：厚3ビニル床タイル／厚7.7・9.5タイルカーペット／厚7.6磁器質タイル貼り



受付エリア正対

受付カウンターには地元富士産の檜、受付背面の壁には火山由来のシラスやリサイクル素材を含み調湿効果のあるサステナブルな大判内装材を貼り、受付という来店客からの第一印象となりうるエリアで施主の思いを表現している。



奥側からショールーム全体を望む。

上げ床の下のスペースを活かし、洞窟を設えた。この洞窟を活かし、周辺はアウトドア用品の展示・イベント開催を想定したコーナーとした。洞窟内には富士山をイメージした溶岩砂利を敷き、展示するアウトドア用品をさらに演出している。上げ床に設置した転落防止の手摺には目隠しの為、通常は屋外のオーニングなどで使用される生地を張り、デザインコンセプトに沿う素材選びに留意した。



特別席周辺

商談スペースである上げ床エリアの一番奥を特別席として前述と同じ天蓋を設え、コーポレートカラーと合わせたソファを設置。販売促進に繋がる仕掛けづくりをしている。



客用トイレ 洗面カウンター正対

施主がおもてなしの意味で大切にしている客用トイレには洗面カウンター周辺のタイルやペンダント照明も富士山モチーフとし、ショールームとの関連を持たせた。